

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ヘルスアセスメントⅠ		必修	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
窪川 理英 他	404	r.kubokawa	火曜日 12:00~13:00		
授業の目的・概要	看護の対象者を身体的だけでなく精神的、社会的視点から健康状態を査定するヘルスアセスメントは看護職に欠かせない能力となっている。ヘルスアセスメントⅠでは、概要を講義で学び、健康に問題を持つ対象者の身体的情報を評価する方法について、PBLを用い、グループワークにより理解を深め、演習を通し実技(フィジカルイグザミネーション)を修得する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> ブレインステーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他( )				
学習上の助言	学習効果を上げるためには、「人体構造機能学」を復習することで、身体の機能を評価する必要性を理解し、機能評価としてフィジカルイグザミネーションを学ぶ。				
教科書	・看護がみえるVol 3 フィジカルアセスメント /医療情報研究所 /メディックメディア ・系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学② /著:有田清子 他 /医学書院 (2冊指定)				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	ヘルスアセスメントが理解できる。		HSU(2),NS(1)~(5)		
②	人体機能を評価する方法としてフィジカルイグザミネーションが理解できる。		HSU(2),NS(3)		
③	バイタルサイン測定の意味を理解し測定することができる。		HSU(2),NS(3)		
④	フィジカルイグザミネーションを実施し対象者の健康状態を考えられる。		HSU(2),NS(3)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	ヘルスアセスメントの概要を学ぶ。	講義	(予習)ヘルスアセスメントの概要について	1	
2	フィジカルイグザミネーションの概要を学ぶ。	講義・演習	(予習)フィジカルイグザミネーションについて	1	
3	バイタルサイン測定を理解する。	講義・演習	(予習)バイタルサインについて	1	
4	血圧測定部位・測定機器を理解する。	講義・演習	(予習)血圧測定機器について	1	
5	血圧測定方法を理解する(触診法)。	講義・演習 (グループワーク)	(予習)触診法での血圧測定方法	1	
6	血圧測定方法を理解する(聴診法)。	講義・演習 (グループワーク)	(予習)聴診法での血圧測定方法	1	
7	呼吸器系のフィジカルイグザミネーションを学ぶ。	講義・演習 (グループワーク)	(予習)呼吸器系の解剖と機能	1	
8	循環器系のフィジカルイグザミネーションを学ぶ。	講義・演習 (グループワーク)	(予習)循環器系の解剖と機能	1	
9	呼吸器系・循環器系のフィジカルイグザミネーションを学ぶ。	講義・演習	(予習)呼吸器系・循環器系の関連について	1	
10	腹部のフィジカルイグザミネーションを学ぶ。	講義・演習 (グループワーク)	(予習)腹部の解剖と機能	1	
11	脳神経のフィジカルイグザミネーションを学ぶ。	講義・演習 (グループワーク)	(予習)脳神経の解剖と機能	1	
12	中枢神経系のフィジカルイグザミネーションを学ぶ。	講義・演習 (グループワーク)	(予習)中枢神経の解剖と機能	1	
13	バイタルサイン測定ができる(技術確認)。	演習(PBL)	バイタルサイン測定の練習	1	
14	バイタルサイン測定ができる(技術確認)。	演習(PBL)	バイタルサイン測定の練習	1	
15	筋・骨格系のフィジカルイグザミネーションを学ぶ。	講義・演習 (グループワーク)	(予習)筋・骨格系の解剖と機能	1	
試	筆記試験 達成度評価・評価のポイント参照				

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

		達成度評価						
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
総合力指標	知識・技術力	70	0	0	30	0	100	
	思考・推論・創造する力	60	0	0	0	0	60	
	思考・推論・創造する力	0	0	0	30	0	30	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
取組みの姿勢・意欲	10	0	0	0	0	10		
問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0		
評価のポイント							フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	定期試験においてヘルスアセスメントの概要理解やフィジカルイグザミネーションの目的、方法を理解する。技術試験において対象者への対応方法を確認する。					試験終了後、テストの回答を公表及び説明
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
ポートフォリオ	①	✓	事前学習課題の内容、提出方法の順守状況。					予習したレポートの添削、授業において内容説明
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
その他	①							
	②							
	③							
	④							
備 考								
他担当教員	坂本文子、溝口孝美							
教員の実務経験	担当教員である窪川理英、坂本文子、溝口孝美、病院の看護師として10~20年の臨床経験を有する。							
実践的授業の内容	実務経験のある教員の指導の下、実践に沿った場面を提示しフィジカルイグザミネーションの方法を学ぶ。							
その他	・受講態度に問題がある場合は退室してもらう。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある。							